

新たに設立・出店する法人及び売店とカフェへの基金募集についての趣意書

拝啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがたく御礼申し上げます。

浦佐地域づくり協議会も設立から 14 年が経過し、地域の皆様に支えられ、諸先輩方の献身的なご努力によりイベント事業など多くの地域活動を展開することができました。

さて浦佐地域では、'70 年代から急激に動き出した高速交通時代の幕開けにより、都市計画設定、数々の大型公共事業、病院・学校建設など新しい町づくりを進め、地域に大きな発展をもたらせました。しかし同時に時代の流れは“開発の影となる部分”も生み出すことにもつながり、いま浦佐西山地域は新たな視点によるまちづくりへの取り組みが求められていると考えます。

地域の国道以西には 600 世帯 1,500 人が暮らしますが、食料品店も撤退して久しく、商店街も大きくその姿を変えてきました。少子化は人口を急激に減少させ高齢化が進むなかであって、かつての賑わいや活力が失われつつあるように思えます。

こうした大きな時代の流れに抗することは難しいことではありますが、浦佐という地域の底流にはやはり宿場町・門前町としての文化が残り、歴史ある「浦佐毘沙門堂」を中心とした精神文化が根付いていると感じています。地域をはじめ協議会では、そうした地域文化を大切にする“毘沙門様の千年のまちづくり”を目指し“毘沙門様に似合うまちづくり”を進めてまいりました。

「風が吹けばプロジェクト」では、“フットパスを基本とする小さな観光”から地域の活性化などの取り組みを本格化させ、「雪国おくにじまん会館」の拠点性を高める活動を続けながら、将来的には新たな会館建設への道を模索したいと考えています。

今の私たちができる活動として暮らしやすい地域を目指し、「JA 旧浦佐支店」の跡地利用案として「びしゃもん市」の通年営業化、そして誰でも気軽に立ち寄れる「カフェ営業」に向けた準備を進めています。新店舗の運営には新たな法人組織の設立を予定し、浦佐地域づくり協議会と一体となった活力ある地域づくりを進めたいと考えています。

コロナ禍などもあって不安定な社会状況のなか、大変心苦しい限りではありますが法人の設立と会館 1 階フロアでの売店・カフェ店営業をするための基金拠出をお願いするものであります。

何卒そうした趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお、令和 4 年度中には下記の諸事業と営業を予定したいと考えています。

(1) 会館 1 階と外構周りの改修工事

- ・南魚沼市から、会館 1 階フロアの全面的な改修工事を予定し、県道からの乗り入れ段差解消、屋外デッキの設置、会館西側への物資搬入口の補修工事などを完了しました。

(2) 新法人組織の設立

- ・一般社団法人「浦佐まちづくり機構(仮称)」を設立し、当面以下の店舗運営を行う。
- ・地域の活性化と特徴ある地域文化の醸成、そして交流・関係人口の増加に努めます。
- ・10 口以上の基金拠出者をもって「正会員」とし、法律上の法人「社員」とします。

(3) 新「びしゃもん市」開店準備と営業活動（令和 5 年 2 月末を予定）

- ・従来から“季節的営業”を行ってきた「びしゃもん市」をベースに、会館 1 階フロアへ移転し、食料品・生活雑貨店、お土産店として通年営業を目指します。

(4) 「西山 Cafe」の開設と営業（令和 5 年 3 月末を予定）

- ・地域生活者と訪れる人々が気軽に立ち寄れ、軽い食事、伝統食・地域食などを提供できる和風なカフェを目指します。

法人の設立及び店舗の開業準備・営業などの費用は全額「基金」を持って運営します。

【基金拠出の方法】

専用口座へのお振込みとし、1 口 10,000 円から何口でも可能です

銀行名：第四北越銀行 大和支店

口座番号：普 6311306

口座名義：浦佐地域づくり協議会 会長 上村勝 (カミムラサル)

※ 手数料はご依頼人負担でお願いします。

※ 新法人組織は基金に対する税制が優遇される特定公益増進法人ではありません。

※ 上記以外の方法で基金拠出を希望される方は、浦佐地域づくり協議会までお問い合わせください。

令和 5 年 1 月吉日

設立準備会代表 浦佐地域づくり協議会 会長 上村 勝

新法人設立時代代表理事 関 博 行

会館 1F 改装工事後の状況

